



大学生と幼児らが「まま」などを通して交流した  
セミナー=岐阜市東鶴岐阜保健大

## 大学院生と母子交流

岐阜保健大大学院助産師コースの「大学発ネウボラ母子支援セミナー」が、岐阜市東鶴の同大で開かれ、幼児とその母親が、助産師を目指す大学院生や教授と、遊びなどを通して交流した。

セミナーは2019年に、子育て支援を目的に看護学研究科の内藤直子教授(77)が立ち上げた。新型コロナウイルス禍での中断を経て4年ぶりに5月24日に再開した。「ネウボラ」とは「フィンランド」で行われている、保健師による子育て支援のこと。同大学院では実習の一環として取り入れている。

セミナーには2組の親子が参加、大学院生4人と積み木を高く積んだり、おもちゃの食材を切るままごとをしたりして遊んだ。親向けに、子どもに行えるハンドマッサージの指導もあった。参加した山北由加里さん(43)=大垣市=は「一緒に参加した娘が、仲良く遊べて良かった。また連れて来たい」と話した。